

【開催要領】

ミルクで繋がる交流の集い2025 ～地域酪農の価値を共創する乳業の取り組み～

2025 年 4 月 28 日
ミルク 1 万年の会

1 趣 旨

日本人の食生活にとって牛乳や乳製品はなくてはならない大切な食品です。また、酪農や乳業という生業は人々の暮らしにおいて幅広い多面的な役割を果たしています。しかし、酪農乳業をめぐる最近の環境は大変厳しく、わが国のミルクと酪農乳業の持続性はかつてないほどの大きな危機に晒されています。

こうした状況を踏まえ、「ミルクで繋がる交流の集い2025」では、地域酪農を存立基盤としながら、現場の酪農生産者と連携して、ミルクや酪農の大切さを人々に伝える努力をされている地域乳業の取り組みとその成果に学ぶことで、日本における持続可能な酪農への道筋を一緒に考えてみたいと思います。

なお、ミルク 1 万年の会は2015年2月に設立されてから10年を経過しましたので、ミルク1万年の会の10周年記念の意味合いも持たせます。

2 テーマ(一緒に考えたいこと)

今回は、「地域酪農の価値を共創する乳業の取り組み」をテーマに、酪農家と協働して地域社会や酪農の価値を伝える乳業者の取り組みについて、参加者と一緒に考えます。

現代社会は、農業の生産と消費の場の分断が起こり、消費者が酪農を身近に感じ理解する機会を持つことは難しくなっています。

こうしたなかで、地域乳業によっては、酪農の価値を引き出し消費者の理解を得るための「商品」を酪農家と協働して作り出す取り組みが進められてきました。

また、最近では、過疎化によって地域コミュニティが衰退し、酪農家などの農業生産者の孤立感が深まる中で、連携した商品作りや地元乳業による支援によって、酪農家が自らの存在価値を実感し自信を持てるようななどの効果も指摘されています。

さらに、生乳などの地域農産物の安定した需要の開発と高付加価値化、酪農家の六次産業化への支援、新たな雇用の場の創出などの経済効果など、地域創生への貢献も大きく期待されるようになっていきます。

以上のような視点から、今回は、岩泉ホールディングス(岩手県下閉伊郡岩泉町)とひまわり乳業(高知県南国市)の二つの事例を学びます。

3 日 時:2025 年 7 月 5 日(土) 開場 13 時

4 場 所:大妻女子大学 千代田キャンパス E 棟 E454 講義室 (東京都千代田区三番町 12 番地)

5 主催: ミルク 1 万年の会

協力: 一般社団法人 J ミルク

後援: 全国乳業協同組合連合会

6 定員 100 名

7 スケジュール

【第一部】 講演とディスカッション:13時30分～17時15分

(1) 講演:13時45分～15時30分

① 株式会社岩泉ホールディングス 社長 山下欽也 氏 (50分)

明治初期からの古い酪農の歴史をもつ岩手県岩泉町の岩泉ホールディングスの取り組みです。酪農を通して過疎化が進む地域の再生を実現したいという願いをもとに約20年前に設立された岩泉乳業(現在は「岩泉ホールディングス」)は、洪水被害などの困難を乗り越えて、いまや個性的なヨーグルトなどの商品で地域と酪農の価値を伝える事業を発展させています。最近では、地元出身のメジャーリーガー・大谷翔平選手が「世界で一番美味しいヨーグルト」と評したこともあり、日本中に知られるようになりました。



② ひまわり乳業株式会社 社長 吉澤文治郎 氏 (50分)

創業100年を超える高知県南国市・ひまわり乳業の取り組みです。大正初期に小さな牧場からスタートしたひまわり乳業は、「自然・健康・地域」を企業理念に地域の酪農家と二人三脚で事業を発展させてきました。製造されている商品は、人気のテレビ番組「ポツンと一軒家」でも紹介された高知発祥の山地酪農を支援する商品、嚥下障害が多い地域の高齢者の要望に応えるための商品など、地域とともに歩む企業理念を表現したものが多く地元で安定した支持を得ています。



(2) 休憩・試食:15時30分～16時00分

二社の特徴的な商品をご提供いただき、参加者の皆さんで試食します。

(3) ディスカッション:16時00分～17時15分

講師2名、会場参加者とのディスカッション(モデレーター:前田浩史)

「地域酪農のもっている多様な価値をさらに発展させるための乳業及び商品の役割とは何か。酪農家と乳業の協働、それをカタチにする方法とは何か。地域社会にいかに関与するのか。」

【第二部】 交流パーティ:17時30分～19時30分 大妻女子大内 kotacafé(コタカフェ)

8 参加費

第一部「講演とディスカッション」 無料

第二部「交流パーティ」 一般 4,000 円 学生 2,000 円

注:「交流パーティ」参加費は当時会場受付で集金します。キャンセルの場合はキャンセル料を徴収。

9 参加者募集

Google フォームからの申し込み <https://forms.gle/tx3ssCa4FLHVDLKeA>

10 問い合わせ先

ミルク1万年の会 担当者:前田 E-Mail: hirofumi.maeda@gmail.com

(以上)